

## 第35回基本政策部会 議事要旨

### 1 日 時

令和5年10月30日（月）15:30～17:30

### 2 場 所

中央合同庁舎4号館 全省庁共用1208 特別会議室

### 3 出席者

#### (1) 委 員

白坂部会長、常田部会長代理、青木委員、石田委員、臼田委員、漆間委員、工藤委員、栗原委員、篠原委員、南委員、山崎委員

#### (2) オブザーバ

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 石井理事

#### (3) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 渡邊審議官、滝澤参事官

#### (4) 関係省庁

総務省国際戦略局宇宙通信政策課	扇課長
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課	上田課長
経産省製造産業局宇宙産業室	伊奈室長
国土交通省大臣官房技術調査課技術開発推進室	村上室長
国土交通省大臣官房技術調査課	山崎課長補佐
環境省地球環境局総務課気候変動観測研究戦略室	岡野室長
防衛省防衛政策局戦略企画参事官付宇宙海洋政策室	中野屋室長

### 4 議事要旨（○：意見等）

事務局から資料1に基づいて説明。委員から以下の意見があった。

#### < 1. 宇宙基本計画工程表の改訂について >

- 前回の改定から半年後の改定ということで、大まかな方針に変更はあまりないと思うが、今年度末までの取組状況についてきちんと書き込むとともに、今後数年の取組予定については、予算要求状況も踏まえつつ、ブラッシュアップしていただきたい。
- 線表に記載のある取組内容について、適切に議論が進展したのか、わかりやすく工程表本文にも対応させて記載していただきたい。
- リモートセンシング技術について、利用省庁がしっかり支援し、利用をしないと、本当の意味で使われる宇宙にならない。アメリカでは、利用省庁が企業育成も行っており、内閣府と利用省庁とでよく連携し、取り組んでいただきたい。

#### < 2. 宇宙技術戦略に関する考え方について >

- 必ずしも現時点で日本に強い技術力があるものではなくても、自立性・自律性の観点から、将来的に必要となることが予測される技術についても、重要技術として育てていくべきではないか。

- 宇宙以外の産業が持つ技術を、宇宙分野に転用できる可能性もある。宇宙技術戦略ができたなら、宇宙以外の産業界、スタートアップ企業、アカデミア等に広く示すことにより、宇宙業界との双方向的な対話・連携のきっかけとできると良いのではないか。
- 宇宙技術戦略の策定とローリングのプロセスにおいて、双方向に対話をしながら、民間企業の力を引き出し、企業が自立的に成長していくようにしてほしい。